

「DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2026 in 広島」の開催について

1 要旨・目的

県内の公共土木施設等に関するデジタル情報（オープンデータ）を一元化したインフラマネジメント基盤（DoboX）の利活用促進のため、オープンデータを使用したアプリケーションの開発などの体験イベントを開催する。

2 現状・背景

本イベントは、デジタル人材の育成や、民間事業者等による新たなサービス・付加価値の創出に向けて、国土交通省との共催で、令和5年度から実施しており、今回で4回目となる。

プログラミング経験の少ない方でも気軽に参加できるよう、ITエンジニアなどのメンター（指導者）により、アプリケーションの開発などを支援する。

3 イベント概要

(1) 対象者

データ利活用に関心のある社会人、学生など（定員50名）

(2) 開催期間

令和8年8月29日（土）～8月30日（日）

(3) 開催場所

広島大学 東千田キャンパス 地域連携フロア「SENDA LAB」
（広島市中区東千田町一丁目1番89号）

(4) 募集期間

令和8年6月18日（木）～8月23日（日）

(5) 申込方法

特設サイトから申込。詳細は別紙のとおり。

【参考】 過年度の開催状況



プロトタイピングの様子



アプリケーションなど成果発表

DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2026 in 広島

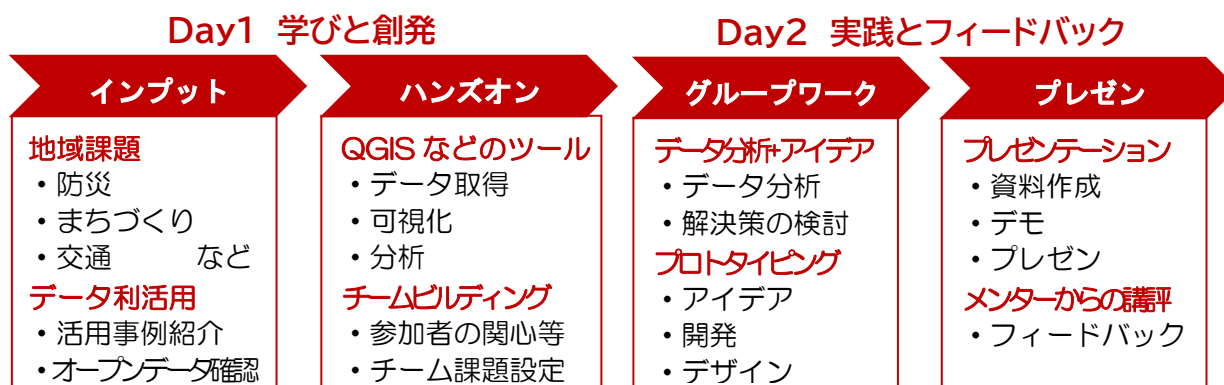
2026.8.29 Sat-30 Sun 開催

広島の未来をデザインし提案する、2日間の集中ワークショップ

「DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2026 in 広島」は、DoboX のオープンデータなどを使って、アプリケーションやサービスを開発するハッカソンイベントであり、防災、まちづくり、交通などをテーマに、参加者と県職員が協働し、地域が抱える課題解決に取り組みます。

このイベントは、全国規模のデータコンテスト「アーバンデータチャレンジ」を開催している（一社）社会基盤情報流通推進協議会と、都市デジタルツインの実装プロジェクト「PLATEAU」を推進する国土交通省から派遣されたITエンジニアなどのメンター（指導者）が、開発支援を行うため、プログラミングなどの経験がない方でも気軽に参加できます。

1 イベントの流れ（予定）



2 参加対象

県内外問わず、参加可能

3 開催場所

広島大学 東千田キャンパス 地域連携フロア「SENDA LAB」

（広島市中区東千田町一丁目1番89号）

4 定員

最大 50 名（応募者多数の場合は先着順）

5 申込方法

特設サイトから申込してください。

URL：<https://dobox-data-challenge.jp/>

6 申込〆切

2026年8月23日（日）〆切

7 その他

イベントで作成したアプリケーションなどの作品は、本県が開催予定の DoboX データチャレンジコンテストなど、様々なデータコンテストに応募することができます。